

# 時事新報

明治廿八年九月廿一日 土曜日  
西曆乙未八月三日 (辛未)  
日出版五時三十九分  
月出版八時三十九分  
年出版六時三十九分  
西曆一千八百九十五年  
西曆一千八百九十五年  
二百六十四日  
百一十四日

## 時事新報

### 戰功と藩閥

明治政府の創立は重に藩閥士人の力に成りたる結果として所稱藩閥政府の實を呈し爾來二十幾年間その地位を維持したりしも近年社會の進歩と共に政府内部にも自から革新の風潮を催し次第に藩閥の色を減じて強藩人の勢力も漸く衰へ如くなりたるに至りし折柄、偶然日清戰爭の端を開て其結局は日本の大勝利に歸し前古無比の大功名を成したる其當局の人々を問へば内に在りて權重の計畫に參したるもの外に出でし海陸の功に從ひたるものも強藩出身の士人に多しと云ふ戰功の餘光は甚だ有力にして維新内戰の功名は且つ二十何年間の地位を維持したりし今回の外戰は當年の内戰と同じに非ず其大功偉勳は何人も争ふ可らざる所にして自然の結果として藩閥の勢力を復舊し再び強藩人の得意を見るに至る可しなきを痛に掛念するものなきに非ざれば是れは現今の時勢を知らざる輩の說にして無益の心配と云はざるを得ず或は今度の外戰をして十數年前にあらし維新の功名尙は新鮮にして百事革命のまゝなる其時代に起りて更らに今日の如き非常の成績を取めたらんには藩閥の勢力はますます光を耀して一世を輝かせます。根柢を固くして萬々歳の頌聲を開きたるものならんや。今日の社會は非常に進歩して十年前の社會に非ず民間の事業は尙或なり工業なり獨立に計畫して尙も政府の補助を蒙らず殊に國會の開設以來人民に參政の權を授けて國事の經營は政府の當局者と共に責任を負担するものとなり實業に政治に政府と對等の地位を成して一歩も譲らざるは正に今日の有様なり左れば今回の戰功は自から大ならざるに非ず實に前古無比の偉勳にして國の爲めに身命を抛つて斯る結果を取めたる其人々の功勞は國民の明に認めて他までも感謝する所なれども其功名の光に眩惑し一切の國事を排けて他の陛下に屈伏するが如きは今の人民の決して爲さざる所なり試に軍人の中に就て戰功の著しくして威望の盛なる人々を計れば山縣、大山の兩老將を始めとして野津、樺山、伊東、川上等の諸將なれども是等の一人の心事を如何と云ふに終身軍職を奉ずるの癖にして政治上に就ては一點の野心もなきが如し若し萬一ふれありとするも今の政府の組織は軍人等の干渉を許さざるのみか實際に國民一般の悦ばざる所なり人智の進歩は事物の性質を明にして能く文武を區別し戰争の功名と政治の伎倆を一視同するものなきが如し若し兩者の之を其適する所に當らしめ人民は局外より其功名を許し其伎倆を觀察して後援の力を致すのみ左れば政府が戰勝の餘威を以て天下を鎮撫するが如きは政治上に文武の別もなき專制時代の遺習にして彼の所謂藩閥の生じたる所以も畢竟先の功名と事後の政治利用したるの惡弊なれども立憲開明の治下にては無用の藩閥を誣して武人は自から政治に參るを好まず政治家は自から武功の餘力を利用して私に威福を弄ぶを得ずとあれば政府内部の難れ彼れは如何なる大功名を成すも之が爲めに藩閥の再興を促すなきは大勢の許さざる所にして又一方には内部の人々も今回の經驗に徴して國家の大事は全國一致國民の後援を得て始めて目的を達す可き事實を悟りたる者なれば殆んど今人の記憶にもなき舊藩閥の餘光を維持して自家の地位を固くせんなきの野心は萬々ある可らず我輩は戰争の結果、寧ろ藩閥の光を薄くして全國一致の成績に歸着す可きを疑はざるものなり

### 報

#### ○紡績絲の前途

大坂、名古屋の好況 大坂は本綿の本場とも云ふべき大和地方を經て名古屋は參河地方の得意先多きを以て紡績絲の商況は盛衰共に此兩地方より其兆候を現はすものゝ如し昨今大坂市中の相場は廿手八十九圓、十六手八十七圓五十錢にして其實行頗る活潑なり然るに東京は二十手は大坂に等しきも十六手は八十六圓五十錢位の相場なれば大坂の紡績會社より東京へ出荷するもの殆ど皆無の姿なるが本来を云へば運賃其他の雜費を見積り大坂の方面に一方安直ならざるを得ざるに今は却て一圓高に賣行くに於ては出荷の少なきは當然の事なるべし斯て大坂の出荷全然杜絶する曉には東京の綿絲は品不足の場合に立至るを以て少くとも大坂同様の價格まで上進するならんか事の茲に至るは蓋し來月の上旬を待たざるべし又名古屋地方の需要を充たすものは尾張、名古屋、三重の各紡績會社及び大坂各會社の製成品なるが此項は綿絲の景氣殊の外宜しきものと見之此程同地の商人より鐘淵紡績會社へ向て三百兩許の注文ありたるに付し同會社は直に電報を以て直段の照會を爲したるよし若し愈々同會社の差直にて買入を望むに於ては其好況は東京地方の比にあらざるべしと云ふ

#### ○市村座劇評

九郎助首尾一點の急所を押へる所だに見出さず無論上出来、市村に對して氣の毒なれど優が此の座に居るが、檢察の通り後を勤めざりしは吾人共に遺憾、大詰に、正純何んか楠公と本多上野介を合併せし條に、名前に杉田と六浦の勘さ役めれば石齋の來る所なるを八百藏が同じ場に二役勤るものと出來ざるより優に石齋の弟と名乗りて代りに勤はれしものなるが團十郎なればを此の勘さに大に引き立ちたれど優には彼らに役柄なるを他人の穴を填るに苦情も鳴さず出勤するとは神妙なり○團十郎の金屋羅網金助さなきに役々高橋屋敷の優が左團太の當り役を勤めて之に擬する

志事新報は全國中紙面の最も廣き新聞紙なり

#### ○伯林工業博覽會に就て

日告示第十號を以て明年伯林に開設する工業博覽會に政府は參同せざるも當業者は隨意出品し得べき旨告示したるも右博覽會は獨逸の内國工業博覽會にて本邦人の出品を許さざる事の判明せしに依り農商務省は昨日を以て隨意出品云々の告示を更に取消したり

#### ○歐洲大部の人口

最近の調査に據れば歐洲諸國中有名な都府にして人口百萬以上を有するものは僅に五箇所なり即ち左の如し  
倫敦 四百二十一萬五千五百六十八人  
巴黎 二百四十四萬七千九百五十七人  
柏林 百五十七萬八千七百九十四人  
維也納 百三十六萬四千五百四十八人  
彼得堡 百三萬五千四百三十九人

#### ○梶井貞殿の再建

京都府下愛宕郡大原の三十三院門跡は世に梶井宮と稱し維新前は法親王住して名高き寺院なりしも其後次第に衰へて自然古傳の法義すら修行するも能はざるに至りしが今度同門跡梅谷大僧正を初め關係ある人々協議の上宸殿を再建するものと決し近々その工事に着手すべしと云ふ

#### ○横濱恤兵會の寄贈品

征討軍へ贈るべき海軍パイプ一萬本は既に出來上りたれば陸軍軍兵部へ獻納したるよし尙ほ同會は臺灣の事局平定後一先解散する善なれども引續き徴兵慰勞會を組織せんといふより籌議中なりと云ふ

#### ○眞砂座の次興行

狂言は「新説黄金花籠」の  
夜番賣り松屋、林屋徳  
松平伊豆守、城崎の平次